

各地域の主体と連携した環境保全活動

グリップ

私たちは地域との協働関係を持って自然環境や営農環境の整備を進め自然との共生を推進することを目的にこの活動を行っています。以下で活動内容について説明していきます。

■ 大崎地区におけるびわ畑の耕作放棄地の再生

びわ畑の耕作放棄地の再生は私たちが最も力を入れている活動です。私たちは耕作放棄地となってしまうびわ畑に入り込み、1年間を通してびわを育てています。今年度は、作業の合間に休憩できるような日よけを完成させました。現在は僕ら以外にもびわ畑を訪れた人々が利用できる拠点のような存在となっています。



■ 竹林整備

毎年竹による「竹害」を少しでも減らすため、管理者がいなくなった竹林の整備を行っています。そこで切った竹は、ペンギン水族館さんとのコラボで竹灯籠にしてイベントで飾っています。しかし、去年に引き続きコロナウイルスの影響で中止となりました。そこで少し飛び出して佐賀県玄海町まで行き、竹林整備を行ないました。切った竹は近くの温泉で飾らせてもらいました。



■ 橘湾岸における海洋ゴミ拾い

長崎総合科学大学から車で10分程度移動した橘湾岸のテトラポットにはたくさんの漂着ごみが打ち上げられています。そこで、それらを撤去する活動を度々計画していましたが、コロナウイルスの影響により今年はできませんでした。（写真は去年のものです。）

